規格ニュース

JDPA G 1046 (PN形ダクタイル鋳鉄管)

この規格は、既設あるいは新設のさや管内に呼び径の小 さい新管を押し込み、又は持ち込んで配管するパイプ・イ ン・パイプ工法に用いる呼び径300~1500 PN形ダクタ イル鋳鉄管について規定したものである。

今回、JDPA G 1051 (PN形ダクタイル鋳鉄管(JP方

式及びCP方式)〕と統合し、継手に抜け出し力が働いた場 合にロックリングが管外面に絞られる継手構造に変更、直管 (DGタイプ)及び曲管を追加、施工部品のキャスタバンド を追加するなどして平成29年10月5日付けで改正した。

従来と現在の比較を以下に示す。

【従来】

規格	JDPA G 1046				JDPA G 1051			
適用	押込工法				甲込工法 (JP方式)		持込工法(CP方式)	
(対さや管)	1 呼び径ダウン以上				呼び径ダウン.	3 呼び径ダウン以上		
呼び径	300 ~					$700 \sim 1500$		
直管の管厚			2 種管(呼び径 400 以上) 4 種管(呼び径 600 以上)	1種管			P種管 (3 種管及び 4 種管相当)	
セットボルト	あり				なし			
スプリング	なし				呼び径 900 以上			
タイプ	直管	直管 〔溶接リング付き〕	直管 〔フランジ・リブ付き〕	直管	直管 + キャスタバンド (スペーサ)	直管 (DGタイプ) + キャスタバンド	直管	
直管の 継手構造	セットボルト ゴム輪 ボルト ロックリング 押輪 ・呼び径 700・800 の継手構造を示す。・ロックリングは受口外面から挿入する。				ゴム輪 ボルト ロックリング 押輪 ・呼び径 700・800 の継手構造を示す。			
異形管の種類	受挿し短管、フランジ付きT字管、継ぎ輪、 両フランジ短管、両フランジ片落管				受挿し短管 (JP 方式及び CP 方式)、曲管 (CP 方式)、 フランジ付きT字管 (JP 方式及び CP 方式)、継ぎ輪 (JP 方式及び CP 方式)、両フランジ短管 (JP 方式及び CP 方式)、両フランジ片落管 (JP 方式及び CP 方式)、			

【現在】

規格	JDPA G 1046					
適用(対さや管)		持込工法				
	1 呼び径ダウン以上			2 呼び径ダ	3 呼び径ダウン以上	
呼び径	300 ~ 1500				700 ~ 1500	
直管の管厚	1 種管 (すべての呼び径)、2 種管 (呼び径 400 以上)、 3 種管 (呼び径 500 以上)、4 種管 (呼び径 600 以上) 注1)					1種管、2種管 3種管、4種管
セットボルト	なし					
スプリング	呼び径 900 以上					
タイプ	直管	直管 〔溶接リング付き〕	直管〔フランジ・リブ付き〕	直管 + キャスタバンド ^{注 2)} (STタイプ)	直管 (D G タイプ) + キャスタバンド ^{注 2)} (D G タイプ)	直管
直管の継手構造	ゴム輪 ボルト 呼び径 700・800 の継手構造を示す (従来の JDPA G 1051 と同じ)。					
異形管の種類	受挿し短管、曲管注3、フランジ付きT字管、継ぎ輪、両フランジ短管、両フランジ片落管					

- 注1) 4種管は、管路の線形及び施工延長に制限が設けられている。 注2) キャスタバンドは参考であり、当規格には含まない。 注3) 曲管は持込工法に用いる。

- ※ 詳細は、JDPA T 36 (ダクタイル鉄管によるパイプ・イン・パイプ工法 設計と施工) による。

規格ニュース 71

JDPA Z 2004 (ダクタイル鋳鉄管類の表示)

この規格は、JIS、JWWA、JSWAS、JDPA規格又はそれらに準じて製作する呼び径50~2600のダクタイル鋳鉄管、ダクタイル鋳鉄異形管、ソフトシール仕切弁(GX形のみ)、接合部品、塗覆装などに行う表示を規定している。

今回、適用管種の追加、直管の挿し口部白線表示に文字などの情報の表示を追加するなどして平成29年10月5日付けで改正した。

主な内容を以下に示す。

1 適用管種

この規格の適用管種にGX形管、NS形管(E種管)、S50 形管、ALW形管を追加した。

2 直管の挿し口部白線表示

図1に示すように、直管の挿し口部白線表示には、文字などの情報を表示してもよいこととした。

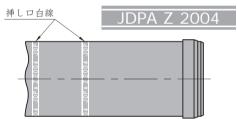


図 1 文字などの情報を表示した挿し口部白線表示(例)

3 異形管などの挿し口部白線、赤線、黄線表示 3.1 対象製品

異形管などの挿し口部白線、赤線、黄線表示を行う対象 製品を表1に示す。

表 1 挿し口部白線、赤線、黄線表示を行う対象製品

20 1 14					
表示	呼び径	対象製品			
	$75 \sim 300$	GX形P-Link			
	$75 \sim 150$	NS形受挿し短管(E種管)			
白線	100	NS形受挿し短管(E種管) ロング			
	$75 \sim 600$	K形異形管			
	$75 \sim 250$	T形異形管			
	$75 \sim 300 \cdot 400$	GX形異形管			
	75 - 300 - 400	GX形ソフトシール仕切弁			
	$75 \sim 300$	GX形P-Link			
赤線	$300 \sim 450$	NS形異形管			
771 NAK	75 ~ 150	NS形異形管(E種管)			
	75 ~ 150	NS形受挿し短管(E種管)			
	100	NS形受挿し短管(E種管) ロング			
黄線	$500 \sim 1000$	NS形異形管			
注記 GX形P-Link、NS形受挿し短管(E種管)及びNS					

形受挿し短管(E種管)ロングは、白線と赤線を表示する。

3.2 挿し口部白線表示

挿し口部白線表示は、接合状況を外面から確認できるようにしている。

図2に示すように、GX形P-Linkの挿し口部白線表示の線の幅は、他の対象製品に合わせて5mmから10mmに変更した。

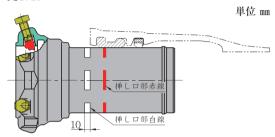


図2 GX形P-Linkの挿し口部白線表示

3.3 挿し口部赤線表示

図3に示すように、ライナを装着した直管の受口に挿入する異形管などの挿し口の挿入量を確認するために5mm幅の赤線を追加した。

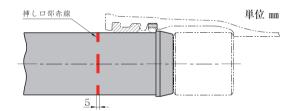


図3 GX形異形管などの挿し口部赤線表示

3.4 挿し口部黄線表示

挿し口部黄線表示は、接合時の異形管の挿し口と受口と の曲がりの状態を確認できるようにしている。

なお、従来、GX形異形管、呼び径300~450 NS形異 形管にも行っていたが、挿し口部赤線表示に変更したこと から削除した。

協会ニュース

高松水道展に出展!! ~雨にも負けず 風にも負けず~

超大型の台風21号の襲来を受け、高松水道展は当初の3日間から2日間に開催日程を変更し、 「耐震化・更新を実行し、続けよう水道の信頼を!!」をテーマにサンポート高松シンボルタワー北 側広場にて開催。127社・団体が出展し、最新の水道技術や製品のPRを行いました。

日本ダクタイル鉄管協会も『管路の末端から幹線まであらゆるニーズに応えるダクタイル鉄管 ~ユーザーと共に歩んだ70年~』をコンセプトに出展しました。展示ブースでは、90インチモニ ターを使ったプレゼンテーションを実施し、協会の歴史や継手開発の歴史、様々な管路構築に対応できる製品ラインアップ、お客様と共に様々な課題に取り組む協会活動など広く紹介し、好評を得ました。また、ブースの壁面には4枚のLEDパネルを設置し、パネル前面の展示台にはS50形管、GX形管(呼び径300)、NS形E種管のカットサンプルを展示することにより、実際に見て・触れてもらいながら、多くのお客様にダクタイル鉄管の良さをPRすることができました。









協会ニュース 73

平成29年度もダクタイル鉄管協会セミナー 全国23会場で開催

日本ダクタイル鉄管協会では平成29年度、管路に限定することなく、水道事業に関する最新の情報や先進事業体の実例を学識者や事業体職員を講師に招き、セミナーを全国23会場で実施しました。

















会場によっては展示コーナーも設置しました

HINODE



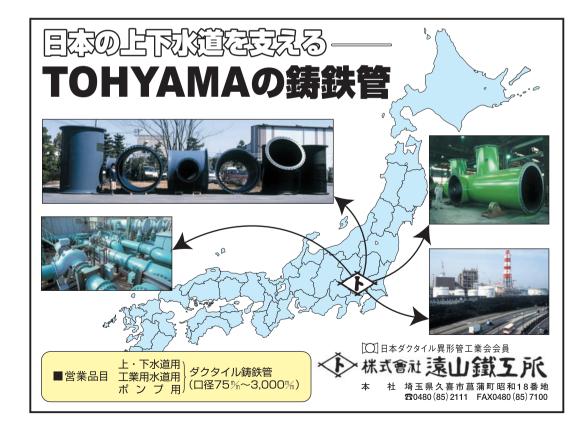
タッチして、効率管理。

上水道管理サポートシステム
UBIQUITOUS TOUCH®
ユビキタス・タッチ®

上水道管理サポートシステム「ユビキタス・タッチ®」は、ICタグが内蔵された鉄蓋とスマートフォンなどのスマートデバイスを使用し、バルブ操作情報などの日常の維持管理情報をパソコンで効率よく管理するシステムです。

日之出水道機器株式会社

本 社/福岡市博多区竪粕5-8-18(ヒノデビルディング) Tel(092)476-0777 東京本社/東京都港区赤坂3-10-6(ヒノデビル) Tel(03)3585-0418 http://www.hinodesuido.co.jp





ダクタイル鉄管 ガイドブック

Ductile Iron Pipe Guidebook

ダクタイル鉄管のすべてを網羅した1冊

~初心者にもエキスパートにも役立つガイドブック~日本ダクタイル鉄管協会では70周年を記念して、ダクタイル鉄管の歴史から特性、継手、防食、設計、施工、維持管理まで掲載した総合技術資料「ダクタイル鉄管ガイドブック」を刊行致しました。

※「ダクタイル鉄管ガイドブック」は、当協会のホームページで閲覧・ダウンロードできるよう、準備中です。





ー般社団法人 日本ダクタイル鉄管協会 (非売品)



- 巻頭言は、全国簡易水道協議会会長の 京極町の山崎町長に簡易水道の課題、水道事業の基盤強化について原稿を執筆いただきました。
- ●今号の対談では、東京大学大学院の滝 沢教授と群馬東部水道企業団の鈴木 局長に広域化と官民連携をテーマに 語り合っていただきました。群馬市 5 町の水道事業を統合した水道企業 可の水道事業を統合した水道企業 可の水道事業を統合した水道企業 再です。その翌年の 4 月からは群馬です。その翌年の 4 月からは群馬開始されています。滝沢教授からは、本道事業における官民連携の難しるとこれが道事業における官民連携の難した。滝沢教授の言葉 理して、「水道事業は管路の維持管理して、「水道事業は管路の維持管理して、「水道事業は管路の維持管理して、「水道事業は管路の維持管理」でも、例えば地域固有の土壌環境があり、経験でしか理解するこ
- とができず、理屈だけを知っていても、相当な部分、その地域で実際に水を運用した経験があるプロパー職員だけが知るノウハウが必要」と述べられています。群馬東部水道企業団は広域化という難しい課題を乗り越えられて、その後、官民連携、そして次に県の用水供給事業との統合の協議を進められていることをお聞きしました。地域の未来の水道を考える群馬東部水道企業団の職員の皆さんの姿に敬服しました。
- ●技術レポートは、豪雨災害によるダクタイル鉄管を用いた復旧、NS形(E種管)の採用について、ダクタイル鉄管によるインフラ整備、S50形の採用、奈良県の広域化など、6つの事業体に執筆いただきました。

ダクタイル鉄管第102号〈非売品〉 平成30年4月 5日印刷 平成30年4月13日発行

編集兼発行人 長 岡 敏 和

発 行 所 一般社団法人日本ダクタイル鉄管協会(http://www.idpa.gr.ip)

東京都千代田区九段南4丁目8番9号(日本水道会館) 本部·関東支部 ₹102-0074 FAX03 (3264) 5075 電話03(3264)6655(代) 大阪市中央区南船場4丁目12番12号(ニッセイ心斎橋ウェスト) 関 西 支 部 〒542-0081 電話06(6245)0401 FAX06 (6245) 0300 ₹060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目41番地(札幌2・2ビル) 北海道支部 電話011(251)8710 FAX011 (522) 5310 北 支 部 ₹980-0014 仙台市青葉区本町2丁目5番1号(オーク仙台ビル) 東 電話022(261)0462 FAX022 (399) 6590 名古屋市中村区名駅3丁目22番8号(大東海ビル) 中部支部 ₹450-0002 電話052(561)3075 FAX052 (433) 8338 中国四国支部 〒730-0032 広島市中区立町2番23号(野村不動産広島ビル8階) 電話082(545)3596 FAX082 (545) 3586 ₹810-0001 福岡市中央区天神2丁目14番2号(福岡証券ビル) 九 州 支 部 電話092(771)8928 FAX092 (406) 2256



NCK 日本鋳鉄管株式會社

本社·工場: 〒346-0193 埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼1番地 **全**(0480)85-1101代 東北支社: 〒980-0014 仙台市青葉区本町3-5-22 **2**(022)263-2731代 東京事務所: 〒104-0045 東京都中央区築地2-12-10 **2**(03)3546-7671代 中部支社: 〒451-0046 名古屋市西区牛島町5番2号 **2**(052)582-9908代 北海道支社: 〒003-0821 札幌市白石区菊水元町1条2丁目3番8号 **2**(011)871-4445代 九州支社: 〒812-0037 福岡市博多区御供所町1-1 **2**(092)282-0201代

For Earth, For Life

百年の実績を、百年先の安心へ。

明治26年、国産初となる鋳鉄管の開発から始まった水道インフラへの取り組み。 クボタは、百年を超えて積み重ねてきた信頼と実績を百年先の安心へとつなげて行きます。



クボタ耐震型ダクタイル鉄管 GENEX JVEES

株式会社**クボタ** パイプシステム事業者 www.kubota.co.jp



本 社 〒556-8601大阪市演遊区敷漳東1丁目2番47号 (06)-6648-2927 東京本社 〒104-8307東京都中央区京欄2丁目1番3号 (03)-3245-3161 北海道支社(011)-214-3140東北支社(022)-267-8922中部支社(052)-564-5151中四国支社(082)-546-0464 九州支社(092)-473-2431 四国営業所(087)-836-3924